

ま ち の ね

「まちなね」って？

地域を支える人たちの声や足音、
まちづくりの音をお届けする
活動レポートとして、
「こうべソーシャルマガジン
まちなね」は生まれました。

P.5~6

神戸ならではの
活動で
地域を支える。



まちなねの音が
聞こえてくる。

P.1~2

神戸市が空き家の
地域利用を応援します！



P.3

活動人めぐり!



P.4

withコロナ
KOBE応援
プラットフォーム



神戸市が空き家の地域利用を応援します！

神戸市では、空き家の地域利用を応援するため、さまざまな補助を実施しています。改修費の補助を利用し、地域の居場所づくりを行っている団体をご紹介します。

改修補助

垂水区
塩屋町
2丁目

秋松
太地さん
麻保さん

子どもたちと共に暮らす「まちライブラリー」

数年前、瀬戸内海を望む塩屋の高台に移住してきました。私たちが暮らす塩屋町2丁目は子どもが多いエリアですが、公園も公民館もありません。

そんな塩屋町2丁目で、「子どもたちと共に暮らすまち」を目指し、わが家に隣接する空き家を「まちライブラリー（本を切り口にしたコミュニティスペース）」として活用します。持ち寄った本を読むことはもちろん、画材、廃材や山で見つけた材料を使ったモノづくりも楽しめる予定です。

工事費用の4割程度を補助金でまかなうことができました。子どもたちの遊び・学びの場として、大人たちの休息の場として、そして交流の場として、地域の方々とこの場を育てていきたいと思っています。



物件紹介 改修補助

北区
有野町
唐櫃

宮崎
定雄さん
NPO法人
アルモニー
理事長

高齢者に新たなきっかけをつくる「寄り合いの場」

NPO法人アルモニーでは、ひとり暮らしの高齢者などを対象に、外出する機会や仲間づくりのための「寄り合いの場」を提供する活動をしています。

この物件は「すまいるネット」で紹介していただきました。システムキッチンへの入れ替えや壁紙の張り替えなどを行いました。改修費の補助を利用し、ほぼ負担なしで実施することができました。

その後、仲間同士で、照明器具を作成するなどし、とても雰囲気のある空間に仕上がっています。山あり、川あり、ホテルあり、のどかな環境の拠点となりました。

ここでの本格的な活動は2021年3月からを予定しています。地元の方々と一緒に写真や書道を楽しみます。



さらにこんな使い方もできます

withコロナ時代だからこそ ご近所さんとリモートワークの場を！

① きっかけ

リモートワークになったけど、家では落ち着いて仕事できないな。



あなた

じゃあ、みんなで町内の空き家を借りて利用しない？



ご近所さん

それは、いいね。

② すまいるネットに相談



近所の方々と空き家でリモートワークをしようと思うんだけど……。いろいろ費用がかかりそう……。

空き家の改修費の補助がありますし、地域利用バンクを利用すると無償貸しの場合はオーナーさんに固定資産税の補助もありますよ！



すまいるネット

③ オーナーさんをお願い



空き家を使わせてもらえませんか？改修も自分でしますし、無償で貸していただければ、税金分は補助でかえってきます。

税金分を補助してくれるならOKですよ。改修は自分たちでお願いします。



オーナー

すまいるネットから、改修工事のアドバイザーも派遣可能（無料）

④ 完成



少ない負担でできて良かった。光熱水費はみんなでワリカンしましょう！



他にも、さまざまな支援制度があります。

空き家・空き地所有者と活用したい方を結ぶバンク制度

賃貸や売買時にかかる仲介手数料や登記費用の補助

空き家に残る家財道具の処分費の補助

各種補助制度には条件があります。詳しくはWEBサイトをご覧ください。



神戸市すまいるとまちの安心支援センター
補助専用ダイヤル

TEL **078-647-9933**

受付時間：10時～17時（水曜・日曜・祝日を除く）

神戸市長田区二葉町5丁目1-1
アスタくにつか5番館2階

すまいるネット 神戸

検索



元気なまちをつくる、活動人めぐり! 元気なひとと出会う
よりよいわがまちのために奮闘する「活動人(かつどうびと)」にインタビューする「活動人めぐり!」。

長田区
二葉町
3丁目

人のつながりを次世代につないでいく取り組みを



今回は長田区二葉町3丁目です。まちづくり構想の策定を目指して、地域や人とのつながりを大切にしながら活動されている菅共代さんにお話を伺いました。

二葉町3丁目はどのようなまちですか?
丸五市場を中心にして、長屋や商店が多く、下町の人情味が深いまちです。昔の丸五市場はとてにぎわっていて、買い物をする人であふれかえっていました。震災以降は空き店舗が増えて課題も多いですが、最近はベトナム人の住民も増え、多文化共生のまちになっています。

現在はどのようなことに取り組んでいますか?
定例会を開いて、まちの将来について考えています。まちのことについて日ごろの思いを話し、次につなげられる良い機会です。皆に「会議に来てね」と声をかけています。新しい参加者が来てくれると新しい視点が生まれるので、3丁目のいろんな人に継続して参加して欲しいです。

取り組みのなかで、どのような点に力を入れていますか?
地区内で各戸にアンケートを実施した際、回収率が上がるように、班長さんが一戸ずつ出向いて回収しました。また、この地域はベトナム人も多く住んでいます。日本語が分からない方も多いので、地域で働くベトナム人留学生に協力してもらいベトナム語のアンケートを作成しました。せっかく縁があって住んでいるので、こんなまちにしたいという思いや悩みなどを自由に書いてもらい、一緒にまちのことを考えていきたいです。多様性がこのまちの良いところですね。

今後の活動への思いをお聞かせください。
結婚してこの地域に来てから、人とのつながりで今までやっていくことができました。この地域の下町らしい文化を継承したいという思いもあり、市場や商店街での中学生の職業体験を提案したり、地元の食材を使ったお弁当を作ってイベントで提供したりと、人のつながりやコミュニケーションを大切に活動をして20年以上続けています。私自身が地域の人に助けられてきたので、地域の力になりたいという思いや、人のつながりをつないでいくという思いを大切に、今後も活動していきたいです。

菅共代さん
二葉町3丁目まち再生協議会副会長



応援したいことを募集します!

withコロナKOBEBE応援プラットフォーム **KOBEBE**

「新型コロナウイルスの影響で困っている市民への応援したいこと」を募集しています。自分ひとりでは実現が難しいことも、神戸市と一緒に協力者を探して応援の実現につなげていきます。

応援事例

店舗を応援したい!

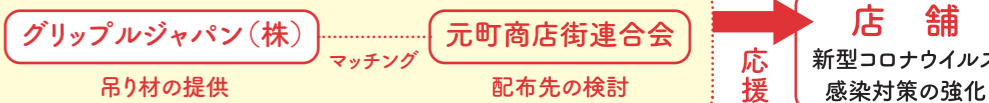
応援するひと **GRIPPLE**
グリップルジャパン株式会社 (建築資材の開発・販売など)

応援する内容
コロナ禍で困っている店舗の感染対策に、ビニールシートを簡単に吊り下げられる自社製品の吊り材を提供したい!そして、地元神戸に貢献したい!

実現した内容
グリップルジャパン(株)から、長さ調節が簡単な吊り材「インビジグリップ」を提供。さらに「元町商店街連合会」の協力を得て、新型コロナウイルス感染拡大の第3波に向けて対策を強化しようとする老舗3店舗にビニールシートが設置されました。



神戸市が実現のためのチームをつくります!



こんな「応援したい!」を募集しています!



例 子ども食堂を応援したい!
近所の主婦グループで、子ども食堂に農作物を提供したい!



例 高齢者の買い物を応援したい!
コロナ禍で外出しづらい高齢者の買い物支援ができそう!



学生、地域コミュニティ、飲食店、外国人など、さまざまな分野への「応援したい!」をお待ちしています。応援したいことがある方は、ぜひWEBサイトからご応募ください。

withコロナKOBEBE応援プラットフォーム
<https://with-kobe.powerappsportals.com/>

応援プラットフォーム

検索



神戸から、神戸で、神戸のために。

神戸ならではの活動で地域を支える。

神戸には、神戸ならではの活動で地域を支える団体が多く存在しています。震災の経験、豊かな自然、多様な産業など、今回は4つの取り組みをご紹介します。

認定特定非営利活動法人まち・コミュニケーション

時間の経過にあわせた「地域づくり支援」が大切！



24年間、被災地住民主体の地域づくり支援をしています。地域づくりには、災害からの時間経過にあわせた地域の課題解決と組織運営が求められます。例えば、災害4年目以降の被災地では、災害復興公営住宅の自治会や、新旧の地域コミュニティの運営といった課題があります。こうした課題に対して、仮設住宅から公営住宅への移行などの環境変化に対応するとともに組織運営の相談に応じています。また、被災地からの生の声をお届けするTwitter「被災地のつぶやき」で情報を発信しています。



Twitter「被災地のつぶやき」

震災避難者コミュニティ さとのわ

関西への震災避難者を支援したい！

さとのわは、東日本大震災の避難者を支援することを目的に、避難当事者が主体となった「相互協力によるつながりの場づくり」を中心に活動しています。具体的には、避難してきた子どもの健全な育成のために父親が主体となって企画する「chichi会」の開催や自然と触れ合うことによる心の癒しや情報交換を目的とした「農園交流会」を実施しています。今後も「身寄りのない土地での孤立を防ぎたい」「子どもたちを安全・安心な場所で育てたい」という震災避難者の想いを大切にして活動を進めていきます。Facebookを通じて情報発信もしています。



おたがいさまプロジェクト

写真洗浄や防災セミナーで被災地を助きたい！



おたがいさまプロジェクトは、被災支援ボランティア団体としてコミュニティ支援や写真洗浄、防災セミナーなどを実施しています。写真洗浄は、「被災者の大切な思い出を守りたい」という想いのもとに、被災地の団体と連携した活動です。また、防災セミナーは学生ボランティアと共同で実施しています。学生が現地活動で学んだ心のケアなどの報告を行う場を設けることで、学生自らが主体となって被災地や防災について考えるきっかけを提供しています。定期的に神戸での写真洗浄ボランティアも募集していますので是非ご参加ください。

一般社団法人神戸活性化支援機構

神戸の農家を支援したい！

地域振興への寄与を目的に、道の駅 神戸フルーツ・フラワーパーク大沢にあるFARM CIRCUSのフードコートの運営や、農作物の商品化による野菜のロス回避といった活動を行っています。農家が規格外の野菜を加工して商品化できる「シェアサロン型の加工場」計画が進行中です。商品加工、企画、製造、PRを一貫してサポートし、質の高い商品を開発しています。コロナ禍では、イチゴ農家を応援するため、クラウドファンディングを通じて多くの方にいちごのチーズケーキをお届けしました。大切に育まれた食材や食文化を地産地消でもっと楽しんでいただきたいと思います。



神戸市では、よりよい地域づくりのための活動や、地域課題を解決するための活動をさまざまな形で支援しています。

市民のみなさんのアイデアを活かして、市民と行政の協働により取り組む活動を支援！

「協働と参画」推進助成

検索



市内でソーシャルビジネスを行っている事業主の方やこれからはじめる起業家の方を応援！

ソーシャルビジネスの推進

検索



自治会運営のご相談は コミュニティ相談センターへ

「総会、会計事務のやり方が分からない」「役員の担い手がいない」など、お悩みのことはありませんか？そのような地域コミュニティの運営や活動に関するさまざまなご相談に応じています。また、活動のコツやヒントを紹介する講座も開催します。

自治会運営あるある Q&A

Q 自治会の担い手が年々減っています。どうしたらいいのでしょうか？

A 自治会活動などへの参加者を増やすための次のような取り組みを進めることが大切です。また、地域の現状を踏まえた上で活動に優先順位をつけ、自治会内でよく話し合って負担を減らしていくことも検討するとよい場合があります。

活動内容を知ってもらいましょう
自治会の活動が地域の安心・安全につながっていることを知ってもらうため、具体的な活動について情報発信しましょう。

若い世代に情報を届けましょう
若い世代向けにWEBサイトやSNSでの情報発信にチャレンジしたり、それらの作成や運営について若い世代に相談してみましょう。

子どもを軸としたイベントも
祭り、盆踊り、ラジオ体操、子どもの見守り活動、夜の見まわりなどを実施して、親子や家族ぐるみで集う機会をつくりましょう。

Q 会計の科目はどのように分類すればいいですか？

A 統一した決まりはありませんが、自治会の予算規模や活動内容に応じて種類と分類を決めましょう。会員にとって「会費が何にどれだけ使われているのか」を判断できるような科目名にすることが大切です。

経費または収入の性質で分ける場合…… 例：光熱費、交通費、通信運搬費、消耗品費など

事業や目的ごとに分ける場合…… 例：防犯交通部費、環境衛生部費、会議費、事務局費など

Q 新型コロナウイルス感染への懸念から、回覧板を回しづらいいのですが、どうしたらよいのでしょうか？

A 対面でのコミュニケーションをとりづらい状況が続いています。回覧を受け取る側も同じように感じている方がいらっしゃると思います。回覧板を全戸配布のチラシにしたり、ご近所SNS「マチマチ」を活用したりするなど、新しい方法を取り入れている自治会の例もあります。

ご近所SNS「マチマチ」 <https://machimachi.com/>

マチマチ

検索

コミュニティ相談センター

アクセス 神戸市長田区二葉町7-1-18ふたば学舎1階
新長田駅(JR、地下鉄西神・山手線、海岸線)から南へ徒歩約13分
駒ヶ林駅(地下鉄海岸線)から徒歩約6分

相談時間 10:00～17:00 (休館日:日・月曜日および祝日、他年末年始など)

電話番号 078-643-2900 **E-mail** com-center@cskobe.com



Facebookはじめました!
最新情報をチェック!



お問い合わせ・発行 神戸市企画調整局つなぐラボ TEL:078-322-5170(平日8:45～17:30)